

## 平成 29 年度 東京都内湾水生生物調査 10 月稚魚調査 速報

### ●実施状況

平成 29 年 10 月 18 日に稚魚調査を実施した。天気は快晴後晴で、気温 17.3~17.8℃、東の風から東北東の風 1.1~3.6m/s であった。当日は大潮で、16 時 09 分に満潮、9 時 56 分に干潮であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

今回の調査では、今年度の調査で出現した種に加えて、シモフリハゼ等が確認された。

2017/10/18	お台場海浜公園	城南大橋	葛西人工渚
作業時刻	8:15~9:12	9:55~10:59	12:20~13:45
水温 (°C)	19.3	19.6	18.8
塩分	21.8	15.6	10.8
透視度 (cm)	100 以上	59	33
DO (mg/L)	3.8	4.6	7.5
DO 飽和度 (%)	47.6	56.2	88.0
波浪 (m)	0.1 未満	0.1 未満	0.1
pH	7.5	7.2	7.5
水の臭気	カビ臭 (弱)	カビ臭 (中)	無臭
備考			

注) 塩分、DO、pH の値は計器測定値。

### ●主な出現種等(速報のため、種名等は未確定)

主な出現種等	お台場海浜公園	城南大橋	葛西人工渚
魚種 (多い順 <sup>注</sup> )	ヒメハゼ (+)	ヒメハゼ (+)	ビリンゴ (+)
	シモフリシマハゼ (+)	シロギス (r)	ヒメハゼ (r)
	アシシロハゼ (r)	マゴチ (r)	マゴチ (r)
	マハゼ (r)		
	ビリンゴ (r)		
魚類以外	ユビナガスジエビ (+)	ニホンイサザアミ (c)	ニホンイサザアミ (G)
	アサリ (r)	エビジャコ属 (+)	エビジャコ属 (c)
備考			干潟内のヨシ帯付近で多くのトビハゼを確認した。

注) 表中の ( ) 内の記号は大まかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100~1000 個体未満、c:20~100 個体未満、+:5~20 個体未満、r:5 個体未満

## お台場海浜公園 採取試料



調査地点の様子



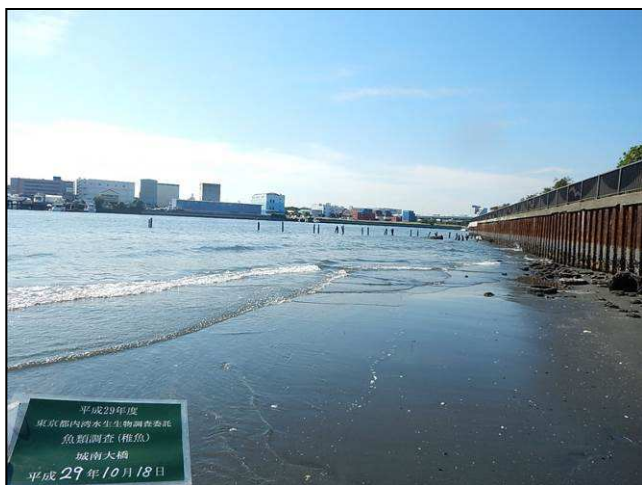
地曳網の様子

アサリ		シオフキガイ	<p>地曳網ではこれまでの調査時同様にヒメハゼ、アシシロハゼ、マハゼ、ビリンゴ、ギマ等が捕獲された。また新たに、シモフリシマハゼを確認した。</p> <p>魚類以外では、ユビナガスジエビ、エビジャコ属、タカノケフサイソガニ、ユビナガホンヤドカリ、アサリ、シオフキガイ等が捕獲された。マハゼは大小様々な個体を確認された。</p>
アシシロハゼ		シモフリシマ	
ヒメハゼ		ギマ	
マハゼ		ビリンゴ	

### 捕獲された主な稚魚

	<p><b>マハゼ</b></p> <p>東京湾奥部の代表種。汽水域や内湾の砂泥底に生息する。主にゴカイ類を餌とする。マハゼ釣りは秋季が最盛期で、天ぷら等にして食される。</p>		<p><b>シモフリシマハゼ</b></p> <p>北海道から沖縄にかけて分布する。主に汽水域に生息する。石や岩があり、カキやフジツボが付着しているような場所を好む。雑食性で主に藻類を食す。</p>
	<p><b>ギマ</b></p> <p>東京都内湾域で、例年夏季に稚魚が確認される。産卵期は6~8月で、全長15cmくらいまでは内湾域にとどまり、以降は湾口部に移動すると推定される。</p>		<p><b>アシシロハゼ</b></p> <p>北海道から九州に分布する。内湾や汽水域に周年生息している。砂底または砂礫底にすみ、雑食性で底生動物や藻類を餌としている。</p>

## 城南大橋 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子



地曳網では、これまでの調査時同様にヒメハゼ、シロギス、マゴチ等が捕獲された。マゴチは、葛西海浜公園で捕獲された個体と比較し、小さな個体が確認された。魚類以外では、ニホンイサザアミ、エビジャコ属、ヨシエビ、ユビナガホンヤドカリ、ホンビノスガイ等が捕獲された。

### 捕獲された主な稚魚



#### ヒメハゼ

河川域やそれに続く前浜干潟に生息し、海岸近くの砂底を好む。食性は動物食である。産卵は春から夏にかけて行われる。



#### シロギス

沿岸の砂底にすむ。主に甲殻類、多毛類を食べる。固い鼻先から、体を震わせて砂に突っ込み、潜り込んで眠る。



#### マゴチ

内湾の砂泥底に生息する。産卵期は4~7月で、例年夏季を中心に稚魚が確認される。捕獲された個体は、今年の夏季に生まれた個体と思われる。



#### ユビナガホンヤドカリ

内湾潮間帯を代表する種潮間帯上部から下部にかけてのタイドプールに生息するが、冬季は少し深い藻場などに移動する。

## 葛西人工渚 採取試料



調査地点の様子



地曳網の様子

<p>平成29年度 東京都内湾水生生物調査委託 魚類調査(稚魚) 葛西人工渚 平成29年10月18日</p> <p>ニホインサザアミ</p>	<p>葛西人工渚 平成29年10月18日</p> <p>ヒメハゼ マゴチ シラタエビ エビジャコ属 ビリンゴ</p>	<p>地曳網では、これまでの調査時同様にヒメハゼ、ビリンゴ、マゴチ等が捕獲された。魚類以外では、ニホインサザアミ、エビジャコ属、シラタエビ等が捕獲された。ニホインサザアミが大量に捕獲されたが、6月調査時よりは少なかった。また、これまで毎回捕獲されていたエドハゼは今回捕獲されなかった。</p>
--	--	--

捕獲された主な稚魚等

	<p>ヒメハゼ 東京湾干潟の代表的な小型ハゼ。マハゼと違い、周年を干潟で過ごす。</p>		<p>ビリンゴ 産卵期は2~5月で、一生を干潟域で生活する。成魚は5cmほどの小型のハゼである。</p>
	<p>マゴチ 千葉県以南に分布する。成長すると体長1mあまりになる。捕獲された個体は、今年の春季に生まれた個体と思われる。</p>		<p>トビハゼ 干潟内のヨシ帯付近で多くの個体が確認された。東京から沖縄に分布し、汽水域に住む。陸上を活発に動き回り小動物を捕食する。</p>